

News Release

P&Gジャパン合同会社

〒651-0088 神戸市中央区小野柄通 7-1-18 https://jp.pg.com/

2021年10月20日

【報道関係各位】

ブラウンと家電量販店7社協働プロジェクト

日本初!*1「ブラウン、使用済みシェーバーリサイクルプログラム」開始

~電気シェーバー利用者の7割が正しい廃棄の仕方を「知らない」と回答*2~

P&G(本社:神戸市)の小型家電ブランド「ブラウン」は、家電量販店 7 社と協働し、使用済みの電気シェーバーを回収しリサイクルをおこなう、日本初^{※1}『ブラウン、使用済みシェーバーリサイクルプログラム』を、2021 年 11 月 1 日(月)より全国の協力家電量販店の店頭で順次開始いたします。ブラウンでは、「"Built To Last"(=長く使用する)」という環境サステナビリティ Vision を掲げています。メンテナンスしながら長く愛用いただくことで、お客様の満足と地球環境に貢献していきます。



対象店舗へ!

















ブラウンの消費者調査^{※2} によると、電気シェーバーを持っている(いた)方の 45.2%が、電気シェーバーを家庭ゴミとして捨てていることがわかりました。しかし電気シェーバーは、2012 年 8 月 10 日に制定された使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律、通称小型家電リサイクル法の対象品目に指定されており、本来は適正な処理を行わなければなりません。また今年 2021 年、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律、通称プラスチック新法が成立し、2022 年 4 月から施行されることとなりました。しかし同調査によると、使わなくなった電気シェーバーを「家庭ゴミとして捨てている」と回答した男性は全体の 44.7%にのぼり、「小型家電リサイクルに出している」と回答した 23.5%と比べ、21.2 ポイントも高い割合となりました。また、「電気シェーバーの正しい捨て方を知っているか」という質問では、「知っている」と回答した 24.2%に対し、「知らない」と回答したのは 64.3%と、3 倍近い結果がでました。電気シェーバーのリサイクルについて広く知って頂く機会を設けることが急務であることがわかりました。これらの状況を受けブラウンでは、このプラスチック新法に先駆け、かねてより課題であった使用済み電気シェーバーのリサイクルについて、お客様にとってもメリットを享受できるキャンペーンという形で、家電量販店 7 社と協働しリサイクルを促す日本初^{※1}のプログラム『ブラウン、使用済みシェーバーリサイクルプログラム』を開始することを決めました。

^{※1} メーカー主導による全国規模での電動シェーバーのリサイクルプログラムとして。2021 年 P&G 自社調べ

^{※2} P&G 調べ 2021 年 10 月 20 歳から 69 歳の男女 1,500 人を対象

■『ブラウン、使用済みシェーバーリサイクルプログラム』概要

キャンペーン名	ブラウンシェーバー&替刃リサイクルキャンペーン					
目的	リサイクル率の低い電気シェーバーの回収・リサイクル促進					
期間	第一弾: 【レシート有効期限】2021年11月1日(月) ~ 22年2月28日(月) 【応募締切】2022年3月15日(火)当日消印有効 ※WEB 応募は23:59まで 第二弾: 2022年3月~					
内容	古くなったシェーバーおよびブラウンの替刃を協力家電量販店の店頭で回収 ブラウンシリーズ 8/9 を購入 : 5,000 円のキャッシュバック ブラウンシリーズ 5/6/7 を購入 : 2,000 円のキャッシュバック ブラウン替刃(シリーズ 5~9)を購入 : 500 円のキャッシュバック					
対象機種	下取り対象:男性用シェーバー(ブラウン以外も対象)、またはブラウン製品の替刃 ※女性用シェーバー、T字カミソリは下取り商品対象外 キャッシュバック対象:ブラウンシェーバー本体・替刃 シリーズ 9~5 全商品					
回収後のリサイクル用途(予定)	回収したプラスチックを使用し植木鉢に再生、ネコノヒゲの種を植え子どもたちへ寄付予定					

『ブラウン、使用済みシェーバーリサイクルプログラム』の流れ

当プログラムは、協力家電量販店各店での使用済みシェーバーの回収と、ユーザー自らが使用済みシェーバーを撮影の上、専用サイトから登録・応募する、2 つのフェーズがございます。ネット環境をお持ちでない方への対応として、別途応募用紙も用意をしておりますが、電気シェーバーの回収方法については、郵送での下取りは行わず、必ず家電量販店各店の店頭で行うこととなります。

キャンペーン応募の流れ

下取り予定のシェーバー本体またはブラウンの替刃の撮影



- ・回収BOXに入れる前にお持ちのシェーバー本体または ブラウンの替刃をスマートフォン等で撮影してください。
- ・応募される写真に、個人を特定できる画像が 映りこまないようにしてください。

店頭でシェーバー本体またはブラウンの替刃を回収BOXに入れる



- ・店頭の回収BOXに、撮影されたシェーバー本体または ブラウンの替刃と取り外した電池を入れてください。
- ・回収対象は男性用シェーバー本体またはブラウンの替刃のみです。
- 取扱説明書を参照し、電池の取り外しと絶縁処理をお願いします。 難しい場合は、放電してから投入してください。

対象のブラウンシェーバー本体またはブラウンの替刃を購入



・右記のキャッシュバック対象商品をご購入ください。



WEBから応募 簡単なWEBからので応募がおすすめです。

応募用紙から応募

回収 BOX イメージ



協力家電量販店について

当プログラムは、ブラウン単独での取り組みではなく、家電量販店7社と協働で行う、メーカーと流通が連携をした業界全体として取り組む 電気シェーバーおよびその他小型家電のリサイクルに関する、現状の問題点への改善活動となります。

【協力家電量販店一覧】

















再生プロダクトについて(予定)

当プログラムで回収された電気シェーバーは、リサイクル専門機関を通じ、プラスチック、金属類、リチウムイオン電池、等 それぞれの素材に 分けられリサイクルが行われます。今回は中でも、来年施行されるプラスチック新法の認知獲得目的も踏まえ、回収し再生したプラスチックで つくった植木鉢に、電気シェーバー(髭)にちなんだ植物「ネコノヒゲ」の種を植えて、未来を担う子どもたちヘプレゼントする予定です。





▲回収した電気シェーバーをリサイクルした「植木鉢 |

▲ネコノヒゲ

日本環境設計株式会社 取締役会長 岩元美智彦氏 コメント

(※「ブラウン、使用済みシェーバーリサイクルプログラム」運営サポート)

弊社日本環境設計が2010年より取り組んでいる繊維リサイクル分野と比べ、小型家電リサイクルは早い段階で法整備がなされていまし た。しかしながら、リサイクルが思い通りに進んでいない製品が少なからずあり、中でも電気シェーバーのリサイクル率はあがっていないという調査 データが出されています。業界のリーダー的ブランドであるブラウンが小売り事業者と協働でリサイクルプログラムを始めると聞いたとき、「これは 状況が一変する可能性があるな」と感じました。

我々日本環境設計も、リサイクル事業のリーディングカンパニーとして、このプロジェクトをサポートさせて頂きます。

【日本環境設計株式会社について】

主に衣類やプラスチックなどのリサイクル開発を中心にサスティナビリティ活動に取り組んでいます。資源が循環する社会づくりを目指し、リサ イクルの技術開発だけではなく、メーカーや小売店など多業種の企業とともにリサイクルの統一化に取り組んでいます。

使用済み電気シェーバーリサイクルに関する意識調査結果

調査概要

調 査 名:小型家電リサイクルに関する意識調査

調査対象者:全国20代~60代男女

有効回答数:1,500ss

調 査 期 間: 2021年10月7日(木)~ 10月14日(木)

調査方法:インターネット調査

調査結果

く 使用済み電気シェーバーの扱い方 >

使わなくなった電気シェーバーの扱い方は『家庭ゴミとして捨てている』が最も高い結果に!

使わなくなった電気シェーバーの扱い方について聞いたところ、『家庭ゴミとして捨てている』が、44.7%と最も高い結果となりました。 また、電気シェーバーの正しい捨て方を知っているか聞いたところ、「知っている」24.2%に対し、「知らない」64.3%、となり、男性全体の約2/3が、電気シェーバーの正しい捨て方を知らないということがわかりました。

■使わなくなった電気シェーバーはどのように扱っていますか? (複数選択可/電気シェーバーを現在お持ちの方あるいは過去に持っていた方のみ回答/男性のみ) n=510

						オークショ ンサイト等				
			家庭ゴミと	小型家電リサイクル		で売ったり 中古ショッ	上記以外		使わなく なった電 気シェー	
	,		して捨て	回収に出	出してい	に出して	に出して いる		バーはな	答えたくな い
性別	,性	510	44.7%	23.5%	8.6%	5.7%	3.7%	2.7%	10.8%	1.4%

■電気シェーバーの正しい捨て方を知っていますか?

(男性のみ) n=805

		n	知っている	知らない	どちらでも ない
性別	男性	805	24.2%	64.3%	11.4%

使用済み電気シェーバーをゴミとして捨てた理由の多くは「処理方法がよくわからない」「リサイクルできるとは知らなかった」「捨てる以外思いつかなかった」が多数

使わなくなった電気シェーバーを家庭ゴミとして捨てた方へ、捨てた理由をフリーアンサーで聞いたところ、「処理方法がよくわからない」「リサイクルできるとは知らなかった」「捨てる以外思いつかなかった」、という理由が大半で、電気シェーバーが小型家電リサイクルの対象商品であることや、使用済み電気シェーバーの扱い方自体を、知らないことに主な要因があることがわかりました。

< P & Gについて>

P&Gは、高い信頼と優れた品質の製品ブランドを通じて、世界中の人々の暮らしに触れ、よりよいものにしています。日本では、電気シェーバー「ブラウン」をはじめとして、柔軟剤「レノア」、エアケア製品「ファブリーズ」、台所用洗剤「ジョイ」、紙おむつ「パンパース」、吸水ケアブランド「ウィスパー」、ヘアケアブランド「パンテーン」「h&s]「ヘアレシピ」、スキンケア製品「SK-II」、シェーブケアブランド「ジレット」、オーラルケアブランド「Oral-B by Braun」など、様々な製品を提供しています。(https://jp.pg.com)

< P & Gと環境サステナビリティについて>

P&Gは世界最大の日用消費財メーカーです。たとえ一つ一つの製品が環境に与える影響は小さくても、事業規模と比例して当社の環境保全への責任は大きく、果たしうる貢献も大きいと考えています。P&Gでは長期的に取り組むべき重点課題として、「環境サステナビリティ」に関する世界共通のビジョンを掲げています。資源を大切に使い、環境への負荷を最小限にする重点課題として、2018年には長期ビジョン「Ambition 2030」を策定し、「製品ブランド」「サプライチェーン」「社会」「社員」の分野での取り組みを進めています。また、さらに 2040年までに温室効果ガスの排出量のネットゼロを目指し、気候変動に対応するための包括的な取り組みを示す「気候変動対策行動計画」を2021年に策定し、取り組みを加速させてまいります。(https://jp.pg.com/environmental-sustainability)

別添資料

【協力家電量販店のコメント】

■株式会社ヨドバシカメラ様

日々お客様と接する中で、世の中の課題となっているサスティナビリティに対し、メーカー様とお客様の間に立ってどの様な行動が出来るかを検討していました。

この度の P&G 社ブラウンのリサイクルプログラムをお聞きした時には、メーカーと小売が一丸となり取り組むべきプロジェクトであると感じ即賛同いたしました。

ヨドバシカメラ全店舗で電気シェーバーおよび小型家電のリサイクル率向上を目指していきます。

■株式会社ビックカメラ様

ビックカメラは、パーパス(会社の存在意義)として「お客様の購買代理人としてくらしにお役に立つくらし応援企業であること」を制定しました。また、マテリアリティ(重要経営課題)として、「循環型社会(サーキュラーエコノミー)への取組強化」、「お客様エンゲージメントの向上」及び「従業員エンゲージメントの向上」を特定し、今期の戦略に盛り込みました。

この度、P&G 社ブラウン様よりリサイクルプログラムのお話をいただき、社長の木村をはじめ、経営層皆が、弊社戦略の「循環型社会 (サーキュラーエコノミー)への取組強化」に直結するプログラムとして賛同いたしました。

ビックカメラグループは、購買代理人としてお客様のくらしに寄り添いながら、お客様や従業員の未来の笑顔の為に、メーカー様と従業員、そしてお客様と一緒に地球環境に負荷が掛からない仕組みづくりに今後も取り組んでまいります。

■株式会社ノジマ様

ノジマグループは、地球環境との共存は経営理念「社会に貢献する経営」の実践そのものという考えのもと、事業活動全体を通じた環境課題解決に取り組んでいます。

今回 P&G 社の小型家電リサイクルを推進する、「サステナビリティキャンペーン」は、弊社としても取り組むべきプロジェクトとして、賛同いたします。

店舗での電気シェーバー回収を通じ小型家電のリサイクル率向上を目指していきます。

■株式会社ケーズホールディングス様

ESG への取り組みの中でも、環境への取り組みは企業経営においても重要な課題となっている昨今、弊社といたしましても、店舗の省エネ化や廃家電への対応など細心の配慮を行っています。

現在「家電リサイクル法」及び「小型家電リサイクル法」に則り、適切にリサイクルがなされており、埋め立て地不足の解消や希少金属の安定供給に役立てられていますが、実際にどのような製品にリサイクルされたかまでを、お客様と回収拠点である弊社が実感できる機会は非常に稀です。

この度の P&G 社ブラウンのリサイクルプログラムによりますと、回収したシェーバーが植木鉢や食事トレーなどにリサイクルされ、それらが保育所等に寄付されるまでの流れを目に見える形で実感することができます。家電量販店として地域の皆様に貢献できることはないかと模索している中で、これはまさにメーカー様と小売業が一丸となって地域貢献できることの一つであると認識し、この度のサスティナビリティキャンペーンに参画させていただくことを決定いたしました。

弊社は今後とも、事業を通じステークホルダーの皆様と「わ」(和・輪)を広げ、大きな社会貢献に繋げていくことを企業理念として取り組んでまいります。